

大麦情報(6号)

令和8年4月14日
JAなんと営農部
砺波農林振興センター

1 生育概況

4月の平均気温は平年より高めに推移しており、管内の大麦の生育は平年より4日程度早回っています。**出穂期は4月15日～21日頃**と予想されます。防除が遅れないように準備しましょう。

2 当面の技術対策

(1)赤かび病の防除 ～適期に確実に2回防除する！～

降雨が多い場合でも、適期に散布することを優先し、**短い晴れ間を利用して確実に防除**して下さい。

また、**ほ場ごとのばらつきが大きいことから、出穂状況を確認し、適期に防除**を行いましょ。

	1回目	2回目
散布時期の目安	穂揃期※(開花始め) 4月18日～24日頃	1回目の7日後 4月25日～5月1日頃
粉剤	トップジンM粉剤DL 4kg/10a	ワークアップ粉剤DL 3kg/10a
液剤	トップジンM水和剤 1,000倍液 150ℓ/10a	ワークアップフロアブル 2,000倍液 150ℓ/10a
へり防除	トップジンMゾル 8倍液 0.8ℓ/10a	ワークアップフロアブル 16倍液 0.8ℓ/10a

※「穂揃期」：穂が9割以上出ている状態

※各集落の防除適期はJAの担当営農指導員にご確認ください。

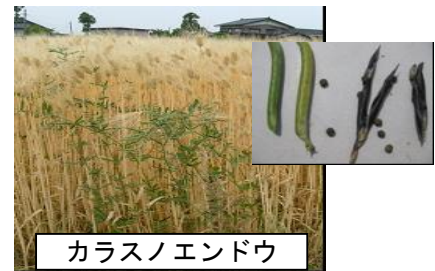
※散布は風の弱い時間帯に行くなど、周辺作物への飛散防止に努めましょう。

(2)排水対策

- ・水口や排水溝などの点検と手直しを行い、湿害を防止しましょう。

(3)収穫前の雑草処理

- ・「カラスノエンドウ」の種子は、大麦子実に入ると、除去できなくなります。放置せず**必ず抜き取り**ましょう。



JAなんとメールマガジンの登録は**こちらから**
登録はこちら
▼



春の農作業安全運動実施中 3月1日～5月31日

お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261)または
砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ